

## 令和7年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICT 機器を活用し、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる様子が見られた。
- ・体験的学習を多く取り入れ、繰り返して学習させるなどの工夫により、基礎的な知識・技能の定着を促した。

#### (2) 課題

- ・生活経験の差から、作業の取り組みや作品の完成度に差が生じている。
- ・分からないことをそのままにし、自分から解決しようと行動に移せない生徒が一定数いる。
- ・効率よく作業に取り掛かることができていない。作業効率を上げるためには道具の管理や机上整理が不可欠だが、あまりできていない生徒が多い。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	授業に前向きに取り組む。意欲的である。	/	/
第2学年	意欲的に学習に取り組む。発展的な内容にも興味を示す。	授業に対して意欲的で、学習の定着もみられる。 (第1学年時)	/
第3学年	座学・実習共に授業に対して意欲的で学習の定着も見られる。	1年次に比べると授業に集中する姿が見られるが、学習の定着面では厳しい。 (第2学年時)	授業に対して意欲的ではあるが、落ち着きが見られない。 (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識の定着に時間がかかる生徒もいるが、学習した知識を日常生活の中で活用しようと	学んだ内容を活用するという面では課題が残る。	ふりかえりから、学んだ知識や技能を日常生活でどう生かすかや自分の生活を改善する

する姿がみられる。		意欲が見られる
-----------	--	---------

## ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識の定着に時間がかかる。 技能面では、真面目に取り組む姿が多く見られるが、定着度にムラが見られる。	自分の生活と結びつけて考えることができている。作業内容の理解が遅く、取り組むまでに時間がかかる。	意欲的に授業に取り組む様子はあがるが、自分の生活をふり返り、改善する点では課題が残る。

## ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な知識・技能は身につけているが、個人差が大きい。	効率の良い作業をするために、考えながら取り組むことができる。	自分の生活と関連させて考えたり、実践したりするためにできることは考えられている。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会や家庭生活と具体的に関連させるような発問や問いかけを工夫する。	タブレットを活用し、視覚的に理解できるように資料を用意し、生徒に配布する。	日常生活で起こりうる場面設定をし、どうやって課題を解決していくか考えさせる発問をする等、自分事として考えさせる授業展開をする。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器やタブレットを活用したり、体験的な学習を通して、繰り返し学習することで定着を図る。	タブレットを活用し、視覚的に理解できるように資料を用意し、生徒に配布する。	学んだ事を自分の生活に生かす課題を取り組ませる際に、他の生徒の意見を参考にさせたりして自分考えを深めさせたり、広げるように促す。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器やタブレットを活用	グループ活動を取り入れ、内	様々な場面を想定し、今まで

<p>したり、体験的な学習を通して、その作業の目的や意味を考えさせながら指導する。</p>	<p>容を工夫する課題を設定し取り組ませる。</p>	<p>に学んだ知識・技能を活用して自分の生活を工夫して改善できるように指導に当たる。</p>
---	----------------------------	--